



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4608		
科目名	卒業研究		
担当教員	原 怜来		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	火 5		
講義室	1203	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	4
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシー（D P）との関連 DP 3 –G 〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する 集団の内外の状況を的確に把握し、適切に 対応することができる。 DP 3 –H 〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排 除するための内省をもって、問題・課題を 合理的に解決することができる。 DP 4 –F 〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する 答・結論・判断を合理的に導くために、 論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答える ための方略をデザインし、検証し実行する ことができる。 DP 4 –I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、 情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効 かつ円滑に行い、課題の解決につなげるこ とができる。 DP 5 –J 〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続し て行うこと を、自らの思考及び行動のパ ターンとするとともに、既存のアイデアを 革新的かつ創造的に統合し、リスクをとり ながら、結果に結び付けることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（2 0 %） G 1 状況把握（1 5 %） H 1 論理的思考（3 0 %） I 2 量的分析（1 5 %） I 3 情報分析（1 5 %） J 2 創造的思考（5 %）		
教員の実務経験	日本水泳連盟科学委員として、選手のデータを測定し、現場にフィードバックをしている経験を活かして、授業を行います（第2回～第12回、第15回～第28回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージと対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠ・Ⅱでの学習を基にした各自の研究内容を定期的に発表し、研究の進捗状況を学生同士で共有し、討論方式でそれぞれの改善点を考察します。文献や資料を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていきます。卒業研究での発表は調査レポート形式、プレゼンテーション、映像など多様な形式が想定されます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：文献精査、研究、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践の発表 ■授業の目的		

	ゼミナールで学習した内容を中心に自身またはグループで研究課題を設定しこれまでの講義・演習で学んだ研究方法を用いて計画の立案から実践まで行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、発表を行うことができることを目的とします。 ■授業のポイント これまでのゼミナールで学習した研究方法を用い、客観的データからコーチング方法に迫り、その成果をまとめ発表を行います。			
総合到達目標	■興味関心の高い分野において、研究を遂行し発表する能力を培うために、自身もしくはグループで研究計画の立案を行い、適切な方法を選択し、他者との議論を重ね、自身およびグループで発表する能力を修得する。 ・先行研究を検索し、その内容について説明することができる（第1回～第3回） ・的確な研究手法を選択し、測定できる（第4回～第9回、第17回～第22回） ・自身もしくはグループの研究発表に適した発表方法を、他者の意見を反映しながら選択できる（第10回～第12回、第15回、第23回～第28回） ・自身またはグループの研究実践結果を聴講者にわかりやすく発表することができる（第13回～第14回、第29回～第30回） ・実践した研究について概要を説明し、他者が実践した研究についても討議することができる（第13回～第14回、第29回～第30回）			
成績評価方法	■リアクションペーパー（10%）：適用ルーブリック G1・H1・J2 （評価の観点）他者の発表に関する肯定的、批判的な内容を含む講評をリアクションペーパーの記載という形式で記載しその内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）リアクションペーパー提出後に授業内で各発表に対する講評を行います。 ■定例プレゼンテーション（20%）：適用ルーブリック F1・H1・I2・I3・J2 （評価の観点）自身またはグループの研究実践経過および結果を定例的（月1回）に発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。 ■総括プレゼンテーション（70%）適用ルーブリック F1 H1 I2 I3 J2 （評価の観点）作成したプレゼンテーション内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。			
履修条件	「ゼミナールⅠ SCS4605」、「ゼミナールⅡ SCS4606」を履修していること。			
履修上の注意点	特にありません。			
授業内容	回	内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 実務経験を通して、コーチング現場における科学的データの活用方法を紹介し、卒業研究の在り方や進め方、評価方法について説明を行います。研究を進めていくための過程やその方法について理解し、卒業研究を通して何を学ぶかについて説明する（G1）。 ③予習（120分） ゼミナールでまとめた内容を再度確認する。シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身およびグループで取り組む内容とスケジュールについて確認しておく。	16	①授業テーマ 卒業研究最終発表にむけて ②授業概要 前期授業内容および中間発表会を振り返り、自身またはグループで最終研究発表へとまとめていく過程を整理する（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 前期授業内容および中間発表会を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（120分） 最終発表までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	2	①授業テーマ 研究テーマの設定 ②授業概要 自身の興味のある研究テーマについて発表し、グループディスカッションを行い、本授業で取り扱う研究テーマを決めることができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身の興味ある研究の発表準備を行ってくる。 ④復習（120分） 研究を実施する上で必要なことを再確認しておく。	17	①授業テーマ コーチングに関する本実験① ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する本実験を流水プールや低酸素室等を利用して行い、科学的データを取得することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を行う。 ④復習（120分） 実施した実験のデータをまとめておく。また、問題点があ

			れば改善点をまとめて次回の実験に備える。
3	①授業テーマ コーチングに関する先行研究発表 ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する先行研究を調査し、研究の現状について説明することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究に関する先行研究を調べてくる。 ④復習（120分） 研究の現状を再確認し、問題点を提言できるようにしておく。	18	①授業テーマ コーチングに関する本実験② ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する本実験を流水プールや低酸素室等を利用して行い、科学的データを取得することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を行う。 ④復習（120分） 実施した実験のデータをまとめておく。また、問題点があれば改善点をまとめて次回の実験に備える。
4	①授業テーマ コーチングに関する研究の仮説立案、実験実施準備 ②授業概要 自身で決めた研究テーマの仮説を立て、流水プールや低酸素室等を利用して実験実施の準備を行うことができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する仮説を立ててくる。 ④復習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を確認しておく。	19	①授業テーマ コーチングに関する本実験③ ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する本実験を流水プールや低酸素室等を利用して行い、科学的データを取得することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を行う。 ④復習（120分） 実施した実験のデータをまとめておく。また、問題点があれば改善点をまとめて次回の実験に備える。
5	①授業テーマ コーチングに関する予備実験① ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する本実験実施に向けて、流水プールや低酸素室等を利用して予備実験を行い、実験方法について説明することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を確認してくる。 ④復習（120分） 実施した実験の問題点・改善点をまとめておく。	20	①授業テーマ コーチングに関する本実験④ ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する本実験を流水プールや低酸素室等を利用して行い、科学的データを取得することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を行う。 ④復習（120分） 実施した実験のデータをまとめておく。また、問題点があれば改善点をまとめて次回の実験に備える。
6	①授業テーマ コーチングに関する予備実験② ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する本実験実施に向けて、流水プールや低酸素室等を利用して予備実験を行い、実験方法について説明することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を確認してくる。 ④復習（120分） 実施した実験の問題点・改善点をまとめておく。	21	①授業テーマ コーチングに関する本実験⑤ ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する本実験を流水プールや低酸素室等を利用して行い、科学的データを取得することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を行う。 ④復習（120分） 実施した実験のデータをまとめておく。また、問題点があれば改善点をまとめて次回の実験に備える。

7	①授業テーマ コーチングに関する予備実験③ ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する本実験実施に向けて、流水プールや低酸素室等を利用して予備実験を行い、実験方法について説明することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を確認してくる。 ④復習（120分） 実施した実験の問題点・改善点をまとめる。	22	①授業テーマ コーチングに関する本実験⑥ ②授業概要 自身で決めた研究テーマに関する本実験を流水プールや低酸素室等を利用して行い、科学的データを取得することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身で決めた研究テーマに関する実験準備を行う。 ④復習（120分） 実施した実験のデータをまとめておく。また、問題点があれば改善点をまとめて次回の実験に備える。
8	①授業テーマ コーチングに関する予備実験④ ②授業概要 実施した予備実験のデータをまとめ、中間発表に向けた準備をすることができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 実施した予備実験のデータをまとめる。 ④復習（120分） データの考察をまとめる。	23	①授業テーマ 最終発表会準備① ②授業概要 これまでに実施した研究成果のデータをまとめ、データの意味を説明することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 実験のデータをまとめる。 ④復習（120分） データの意味を再確認し、考察を行っておく。
9	①授業テーマ コーチングに関する予備実験⑤ ②授業概要 実施した予備実験のデータをまとめ、中間発表に向けた準備をすることができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 実施した予備実験のデータをまとめる。 ④復習（120分） データの考察をまとめる。	24	①授業テーマ 最終発表会準備② ②授業概要 これまでに実施した研究成果のデータの考察を説明することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 実験データの考察をまとめる。 ④復習（120分） 授業で他者からの意見を踏まえて再考察を行っておく。
10	①授業テーマ 予備実験成果の発表方法 ②授業概要 予備実験の成果発表の方法について学習し、様々な発表方法の利点について説明することができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 研究成果の発表方法について確認しておく。 ④復習（120分） 研究成果の発表方法について再確認をし、自身の発表方法を検討する。	25	①授業テーマ 最終発表会準備③ ②授業概要 これまでに実施した研究成果の最終発表準備をすることができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 研究成果の発表方法について確認しておく。 ④復習（120分） 研究成果の発表方法について再確認をし、自身の発表方法を検討する。
11	①授業テーマ 中間発表会準備① ②授業概要 これまでに実施した研究成果の中間発表準備をすることができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 研究成果の発表方法について確認しておく。 ④復習（120分） 研究成果の発表方法について再確認をし、自身の発表方法を検討する。	26	①授業テーマ 最終発表会準備④ ②授業概要 これまでに実施した研究成果の最終発表準備をすることができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 研究成果の発表方法について確認しておく。 ④復習（120分） 研究成果の発表方法について再確認をし、自身の発表方法を検討する。

	12	①授業テーマ 中間発表会準備② ②授業概要 これまでに実施した研究成果の中間発表準備をすることができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 研究成果の発表方法について確認しておく。 ④復習（120分） 研究成果の発表方法について再確認をし、自身の発表方法を検討する。	27	①授業テーマ 最終発表会準備⑤ ②授業概要 最終発表会と同じ方法で発表を行うことができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 研究成果の発表方法について確認しておく。 ④復習（120分） 自身で行った発表について再確認をし、自身の発表方法を検討する。
	13	①授業テーマ 中間発表会① ②授業概要 自身またはグループで取り組む研究の経過について発表を行う（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（120分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	28	①授業テーマ 最終発表会準備⑥ ②授業概要 最終発表会と同じ方法で発表を行うことができる（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 研究成果の発表方法について確認しておく。 ④復習（120分） 自身で行った発表について再確認をし、自身の発表方法を検討する。
	14	①授業テーマ 中間発表会② ②授業概要 自身またはグループで取り組む研究の経過について発表を行う（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（120分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	29	①授業テーマ 最終発表会① ②授業概要 自身またはグループで取り組んだ研究について発表を行う（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
	15	①授業テーマ 中間発表会の振り返り ②授業概要 中間発表会を振り返り、自身またはグループ間で研究をまとめたための討議を行う（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。担当者の実務経験を踏まえて、研究に対して助言等をおこないます。 ③予習（120分） 自身またはグループでの発表内容および受け付けた質疑について確認しておく。 ④復習（120分） 討議結果を振り返り、今後の課題や、方向性の修正などを行う。	30	①授業テーマ 最終発表会②およびまとめ ②授業概要 自身またはグループで取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける（F1・G1・H1・I2・I3・J2）。 ③予習（120分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
関連科目	「ゼミナールⅡ（SSCS4606）」は、本講と密接に関係します。			
教科書	特にありません。			
参考書・参考URL	特にありません。			
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日昼休み			
研究比率				



